



3学期が始まり、2週間がたちました。1月24日から30日までは、全国学校給食週間です。この期間の給食は、普段に比べ特色ある献立（郷土料理や鯨料理など）になっていますので、ぜひ御家庭でも日々の給食のことや、給食の思い出について、お話いただければと思います。

学校給食の歴史を知ろう



給食が始まったのはいつから？

給食は、明治22年山形県鶴岡市の忠愛小学校で、貧しい子供たちを対象に始まったと言われています。その当時の献立は、おにぎり、塩鮭、漬物などでした。その後全国に広まりましたが、戦争のために中断されていました。

しかし戦後、食料不足により子供たちの栄養状態が悪化したため、昭和21年12月24日に東京都・神奈川県・千葉県の学校で試験的に給食が始まりました。この日を「学校給食感謝の日」としていましたが、冬休みに重なることから1月24日～30日を「全国学校給食週間」としました。

☆給食週間中の献立☆

24(金) 長崎県産鶏肉&卵を使用した「親子丼」

27(月) 対馬の郷土料理「いりやき」

28(火) 世界の料理：ウクライナ「ボルシチ」

29(水) 長崎の捕鯨文化「鯨と豚肉のごま味噌がらめ」

30(木) 県産みかん果汁を使用した「みかんパン」

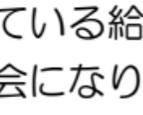
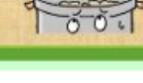
学校給食週間中の取組として、各学級で給食に関する動画を視聴しました。低学年は調理員さんが給食を作っている様子をまとめた動画を、高学年は長与小学校の食べ残し（食品ロス）についての動画を中心に、各学年の実態に応じた学級活動を行いました。

長与小学校で1日に出る食べ残しの量は？

① 0キロ！

② 2キロ！

③ 7キロ！



普段当たり前前に食べている給食について、改めて考えてもらう機会になりました。



給食はいろいろな人に支えられています

学校給食は栄養士が献立を考えて、調理員さんが給食を作ります。また、使われる食材は農家さんや漁師さん、畜産農家さんなどの生産者が大切に育てたり、獲ったりしたものを運送業者さんがお店まで運んでくれました。このように給食には、たくさんの方がかわってくれているので、安心安全な学校給食を届けることができます。



力を合わせた給食集会



21日の朝の時間に、給食委員会による給食集会の動画を放送しました。準備期間は短かったのですが、4つの班に分かれて「食べ物アンケート」「給食間違い探し」「九州食べ物No.1クイズ」「調理員さんへのインタビュー」を行いました。給食や食べ物への興味関心を高めるために、子供たちなりによく考えた取組ができました。給食委員会の皆さん、ありがとうございました！